

D P A T 活動について

○ D P A T (Disaster Psychiatric Assistance Team) とは

自然災害や犯罪事件・航空機・列車事故等の集団災害が発生した場合、被災地域の精神保健医療機能が一時的に低下し、さらに災害ストレス等により新たに精神的問題が生じる等、精神保健医療への需要が拡大するため、被災地域の精神保健医療ニーズの把握、他の保健医療体制との連携、各種関係機関等とのマネジメント、専門性の高い精神科医療の提供と精神保健活動の支援が必要となり、このような活動を行うための都道府県や指定都市によって組織される専門的な研修・訓練を受けた災害派遣精神医療チーム

○ 3町で活動した D P A T

岩手県（先遣隊：9/7～9/11）、秋田県（先遣隊：9/7～9/11）

北海道（道立緑ヶ丘病院：9/11～9/15）

構成メンバー：精神科医師、看護師・心理士等のコメディカル、業務調整員

○ 主な活動

D P A T … 被災地に入って、被災者や医療機関等への直接支援

D P A T 調整本部… E M I S S や J S P E E D などを使い状況把握や現地指示

○ 主な時系列

9/6	3 : 08 4 : 30	地震発生 道庁（精神G）に、D P A T 調整本部を立ち上げる。 精神科病院の被災状況や備蓄等の確認。内外調整
9/7	11 : 00 13 : 00	秋田県、岩手県先遣隊到着 D P A T 事務局到着。先遣隊との打ち合わせ後、先遣隊現地出発
9/8	8 : 00 23 : 00	D P A T 活動開始 岩手…厚真町福祉センターを拠点に、避難所を中心とした救護活動 秋田…管内の精神科病院等に行き、被災状況確認（初日のみ） 2日目以降は、救護活動 北海道 D P A T の派遣を決定。緑が丘病院に依頼
9/11	9 : 30	先遣隊から北海道 D P A T への引継ぎ。引継ぎ後、先遣隊帰還
9/13	14 : 00	被災地の状況等を確認し、D P A T は9/15で活動終了と決定 D P A T 後は、被災者支援として、こころのケアチームを実施決定
9/15	9 : 00	北海道 D P A T からこころのケアチームに引継ぎ